

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公開番号】特開 2019-152594 (P2019-152594A)
 【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-037
 【出願番号】特願 2018-39373 (P2018-39373)
 【国際特許分類】

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 T 7/00 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

A 6 1 B 6/00 3 5 0 S

A 6 1 B 6/00 3 3 3

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 5 日 (2020.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

また、各センサパネル 1 1 A、1 1 B を厚さ方向に順に配置した構成では、第 2 センサパネル 1 1 B への到達線量は、第 1 センサパネル 1 1 A への到達線量の 1 0 ~ 2 0 % と、どうしても低下してしまう。このため、第 2 X 線画像の S N (Signal-Noise) 比は低くなり、グラウンド電位の変動によるノイズの影響が比較的高くなる。したがって、各センサパネル 1 1 A、1 1 B を厚さ方向に順に配置した構成に本発明を適用すれば、より大きな効果を発揮することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 7】

[第 2 実施形態]

図 7 に示す第 2 実施形態では、制御部 3 1 ではなく、第 1 電源部 3 0 A に同期信号供給部 5 0 を設ける。この場合、同期信号供給部 5 0 は、同じ第 1 電源部 3 0 A 内にある第 1 スイッチング電源 4 7 A、第 2 電源部 3 0 B の第 2 スイッチング電源 4 7 B、および制御部 3 1 に同期信号 S Y N C を供給する。制御部 3 1 は、同期信号供給部 5 0 からの同期信号 S Y N C を、上記第 1 実施形態と同じく、クロック信号として各回路部 2 9 A、2 9 B に供給する。